

平成26年 6月定例会

平成26年度予算14億円追加し100億円超に 庁舎移転補償費5億円余りを積立に 【7Pに関連記事】



今定例会は、6月11日から同19日まで開催され、町長から平成26年度補正予算が4件、条例に関する案件4件(制定1件、一部改正3件)、指定管理者の指定事項の変更1件、町道の路線認定1件、人権擁護委員の推薦1件、固定資産評価委員の選任1件の計12議案が提案され、全議案が可決された。

町長提出議案

一般会計予算総額14億円の大型補正 庁舎移転補償費5億円余りを積立へ

平成26年度黒潮町一般会計補正予算

14億161万円を追加し、総額を100億761万円とするもの。

事業など、実質4億程の追加補正予算となった。

可決(多数)

本年度、当初予算は、町長選挙を考慮して、義務的経費を中心に、福祉や教育、町道整備などの継続的事業や、国・県などの補助事業などで当初予算としなければならないものを計上し「骨格予算」としていた。

反対 明神 照男議員

この補正の中に缶詰工場の補正があるが、3月議会でも頂いた資料ではなかなか分かりましたとは言えなかった。今回も売り上げと経費の関係の根拠の説明が十分とは思えないので賛成できない。

よって、今回の補正予算は、新規事業などを中心に、約14億円余りの追加という大きな補正予算となった。

しかしながら、庁舎の移転補償費約5億1500万円の積立、起債(借入金)の繰り上げ償還に約4億4800万円を計上しており、普通建設

主な補正

歳入

○国庫補助金 8728万円

○県補助金 2199万円

○基金繰入金

6億2745万円

【主な内訳】

・財政調整基金 4787万円

・減債基金 4億9118万円

・施設等整備基金 8840万円

○庁舎移転補償金他

5億1929万円

○町債 1億4430万円

【主な内訳】

・情報基盤整備事業債 3千万円

・蜷川健康支援センター耐震改修事業 3640万円

・都市防災総合推進事業

4180万円